実践報告論文の投稿にあたっての倫理的配慮チェックリスト（2022.8.31版）

論文タイトル：

責任著者名：

今回投稿する実践報告と報告内で取り上げた実践内容について、以下の項目であてはまる回答を選んでください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 回答 | |
| 1. ヘルシンキ宣言の一般原則に十分に配慮をした | はい | いいえ |
| 1. 研究的侵襲は発生していない | はい | いいえ |
| 1. 研究目的の採血などの検査・撮影は行っていない（採血などの検査・撮影を行った場合は通常業務内での実施である） | はい | いいえ |
| 1. 本報告から個人が同定される可能性はきわめて低い | はい | いいえ |
| 1. ヒトゲノム・遺伝子解析は含まれていない | はい | いいえ |
| 1. 実践参加者の個人情報を扱うにあたり、利用目的を具体的に特定している | はい | いいえ |
| 1. 対象者の個人情報を取得の際に、偽りその他不正の手段は用いていない | はい | いいえ |
| 1. 利用目的の達成に必要な範囲内において、個人データは、正確かつ最新の内容に保つよう努めた | はい | いいえ |
| 1. 第三者提供の制限に違反して提供している業者から個人情報は取得されていない | はい | いいえ |
| 1. 個人データ取り扱う区域では、入室の管理、盗難防止対策が施された | はい | いいえ |
| 1. 個人データを取り扱う端末に接続する記憶媒体の制限、記憶媒体の持ちだしの制限がなされた | はい | いいえ |
| 1. 情報セキュリティ対策を施したパソコン等で作業が行われた | はい | いいえ |
| 1. 個人データへの適切なアクセス制御（IDの識別やパスワード認証等）が行われた | はい | いいえ |
| 1. 本実践に関連する要望や苦情があった場合には、適切で迅速な対処につながるように努めた | はい | いいえ |
| 1. 実践参加者個人を特定することが可能な氏名、番号、イニシャルまたは「呼び名」は記載していない | はい | いいえ |
| 1. 実践参加者の具体的な住所は記載していない（生活史に関連する固有名詞が必要な場合はアルファベットを用いた（A 市、B 社など）） | はい | いいえ |
| 1. 特定個人・団体の利益や価値観に関わらず、中立性を保ち、事実に即した正確な結果を報告した論文である | はい | いいえ |
| 1. 投稿にあたって所属施設等（施設長、学校長、等）から許可を得た | はい | いいえ |